

独創的かつ革新的な新薬を持ち、世界のグローバル スペシャリティ ファーマ

フィールドで闘える

課題と環境認識

医療課題	社会課題	事業環境
<ul style="list-style-type: none"> 医療ニーズの高度化 高齢化 医療アクセス向上 	<ul style="list-style-type: none"> 社会と企業の共存 社員と企業の共生 多様性(ダイバーシティ)の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各国での医療費抑制政策の進展 国内薬価制度の抜本的改革による規制強化 創薬ターゲット疾患の複雑化 新薬創製の成功確率の低下 新薬開発の期間長期化/コスト高騰 国際的な競争激化 創薬イノベーション実現機会の増加 世界市場への進出

関連するSDGs



投入する資本 (2022.3)

財務資本
持続的な新薬創出につながる強固な財務基盤
資本合計: **6,616億円**
親会社所有者持分比率: **88.7%**

製造資本
高品質な医薬品を安定供給する生産基盤
設備投資額: **93億円**
生産拠点: **2拠点**

知的資本
独自の創薬アプローチとオープンイノベーションをベースとする研究開発力
研究開発費: **758億円**
研究開発費対売上収益比率: **21%**

人的資本
チャレンジする企業風土と自ら成長する機会の提供
連結従業員数: **3,687人**
延べ研修時間: **187,357時間**

社会関係資本
持続可能な社会を実現するための多様なパートナーシップ
大学やベンチャー企業などとの創薬提携・共同研究実施数: **200件**(国内外)

自然資本
「ECO VISION 2050」と環境マネジメント
エネルギー使用量: **99,438MWh**
水資源使用量(取水量): **185千m³**

企業理念

病気と苦痛に対する人間の闘いのために

限られた経営資源を新薬の創製と開発に集中

自社創薬

ユニークな生理活性に注目して、最適な適応疾患を見出し、革新的な医薬品の創製に挑む

ライセンス活動

開発パイプラインの拡充と、自社創製の医薬品の海外展開を推進する

4つの成長戦略

製品価値最大化
～患者本位の視点で～

パイプラインの強化とグローバル開発の加速

欧米自販の実現

事業ドメインの拡大

幅広い領域へ製品を提供



適応がん腫の拡大 オプジーボ

複数のグローバル開発品

米国で臨床試験開始 チラブルチニブ

事業ドメインの拡大 睡眠サプリメント レムウェル



マテリアリティ(重要課題) →P25~

価値創造 →P25~

- 革新的医薬品の創製
- パイプライン拡充
- 製品価値最大化
- 欧米自販の実現
- 事業ドメインの拡大

価値創造のための基盤 →P39~

- デジタル・ITによる企業変革
- 財務資本の強化
- 人的資本の拡充
- 知的財産戦略
- オープンイノベーション
- 多様なパートナーシップの促進

価値の保護 →P61~

- 製品の信頼性と安全性の確保
- 製品の安定供給
- 地球環境の保護
- 人権の尊重
- 法令順守とコンプライアンスの徹底
- サプライチェーンマネジメント

コーポレート・ガバナンスの向上 →P91~

「サステナブル経営方針」 人々の健康への貢献 (2021年度実績)

経済価値

- 新薬創出、効能・効果追加による安定的な収益(売上収益:3,614億円)
- 持続的成長による安定的な株主への利益還元(1株当たり配当金56.00円、配当性向34.5%)

社会価値

- 革新的な医薬品の創製
- 高品質な医薬品の安定供給
- 医療アクセスの向上
- 障がい者雇用率2.38%(前年比0.21ポイント増)
- 地域との連携(大阪府との連携協定締結など)
- 多様な人材
女性社員の定着率95.9%、キャリア採用在籍従業員数487人(2017年度比107人増)

環境価値

- 温室効果ガス排出量の削減(スコープ1+2:2017年度比20.9%削減、スコープ3:2017年度比33.7%削減)
- 全消費電力に占める再生可能エネルギー利用率の向上(利用率:17%(前年度13.2%))
- 水資源使用量の削減(取水量削減率:2020年度比10.7%)
- すべての産業廃棄物に占める最終埋立処分率1%以下の維持(処分率:0.04%)
- 環境にやさしい包装の採用(プラスチックから紙素材への変更など)